

あわくら 歴史街道

里帰りした 坂根薬師堂の半鐘

平成19年5月中頃、突然札幌市在住の梶田氏より、本村役場総務企画課へ、貴村坂根村薬師堂の半鐘を保存しているの、この度お返ししたい旨の朗報電話が入り、早速坂根地区役員さんへ此の由が伝えられました。

坂根地区では急遽引取りへ向けての協議がなされ、受入れについての運びが着々と進められましたが、国内と雖も遠隔の地、北海道札幌市なので相談その他諸々の交渉に不便、意思の疎通など懸念されて、本村塩谷新田達氏の弟さん新田季利氏（元北海道庁勤務、現在退職）が幸い、札幌市内に在住されているので、同氏にご足労を願い梶田氏と面談、交渉、調査等を進めて頂き此の度半鐘の里帰りが実現いたしました。村としても嬉しい事です。

この半鐘は、先の太平洋戦争開戦により戦地戦域の拡大と共に、出征兵士は年毎に増強、内地にあっては軍需工場への徴用、女子挺身隊の名の元に、軍需物資の生産、食糧の増産に邁進した時代でした。何としても戦に勝つ為に航空機、艦船の製造その他武器調達の為、資材難から手段として神社仏閣の釣鐘、鯛口などの供出も余儀なくされるようになりました。この様な情勢下で坂根薬師堂の半鐘も供出に呼応されて、広島県呉海軍工廠へと持込まれ溶解される処でしたが、昭和20年8月敗戦による終戦を迎え砲弾化の必要もなくなり、運良く残存することになったのでしよう。札幌市在住の梶田氏は前記工廠に勤務されていた為、万難を排して保護保存に尽力され、札幌市で保管されていましたが、此の程出所の坂根村へ里帰りするのが最善の策であり、然も薬師堂奉納の半鐘と云う因縁もあって、斯うした行為に思いを馳せられたものと推考、ご厚意に対し深甚の謝意を表したいと痛感しています。

《奉納の半鐘銘記》

文政三年 庚辰八月

美作国吉野郡坂根村

半鐘奉納御薬師

同 庄 屋 卯兵衛

組 頭 甚十郎

百姓代 茂 八

因州智頭郡金屋村

鋳物師 入江助右衛門

下大工 入江竹三郎

(文政三年=西歴1820年)

(参考)

現物計測

総高 53cm

龍頭部分 9.5cm

外径 31cm

内径 24.2cm

重量 20kg

人の動き

平成20年2月1日現在

- 人口 1,646人 (-4)
- 1月中の移動
- 男 775人 (-2) 出生 0人 死亡 1人
- 女 871人 (-2) 転入 0人 転出 3人
- 世帯数 535戸 (-1)

お悔やみ申し上げます

河野志津彥 さん(中土居) 1月30日 93歳
國里 菅夫 さん(別府) 2月10日 94歳

幸せ多い人生を

井上 英二 さん(猪之部)
舛田 美香 さん(愛媛県越智郡)

善意の窓

(村社会福祉協議会から)

平成20年1月20日~20年2月19日

お大事にしてください

塩谷 矢代悦子様 本人 退院内祝
大茅 金田容二様 本人 退院内祝
中土居 白岩正様 本人 退院内祝
別府住宅 木村美紀様 本人 退院内祝

ご冥福をお祈りします

中土居 河野陽志様 亡母 志津彥様 香典返し
別府 國里晴海様 亡父 菅夫様 香典返し

2009年1月、上場会社の 株券が電子化されます

株式の電子化により、上場会社の株券は無効となり、お手元の株券が本人名義になっていない場合には、電子化により権利を失うおそれがあります。この場合、名義書換が必要です。その他、電子化に関するお問い合わせは、日本証券業協会証券決済制度改革推進センター(03-3667-4500)までお願いします。

今月の村税

国民健康保険税(第10期)

納期限：3月25日(火)

◎納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。
口座振替の場合は残高確認をお願いいたします。

お問い合わせ先：西粟倉村役場総務企画課

たばこは村内で買ひましょう!